

部会からのお知らせ

幼稚園部会 子ども・子育て支援新制度への質問に答えて

Q1 新制度施行から2年目、移行状況はどうなっているの??

Answer

平成28年5月1日現在

区分		園数	園児数
新制度	幼稚園（私学助成）	30園	2,624人
	幼稚園（施設型給付）	6園	466人
	幼稚園型認定こども園	13園	1,248人
	幼保連携型認定こども園*	9園	1,512人
計		58園	5,850人



*これ以外に保育所から「幼保連携型認定こども園」に移した園が13園、「保育所型認定こども園」5園があり、現在、県内の「認定こども園」は40園になりました。

Q2 なぜ、今、「新制度」なの??

Answer

- ① グローバル化が進む社会で生きることが求められる人間を育てる教育改革の一環として質の高い幼児教育・保育を全ての子どもたちに等しく提供するため
- ② 第3次産業（サービス業）就労者割合70%を超える産業構造の変化に伴い女性の生き方・働き方に対応するため
- ③ 少子化、人口減少対策として子育てしやすい、働きやすい社会環境にするため



小中高部会 授業料・学用品に対する支援について

私立高校生に対する支援

1. 授業料等に対する支援

世帯収入に応じて、授業料の保護者負担が、軽減されています。

世帯年収額の目安	支援額 [年額最大]
250万円未満	355,000円
250万円～350万円未満	237,600円
350万円～590万円未満	178,200円
590万円～910万円未満	118,800円

2. 学用品費等に対する支援

市町村民税の所得割が非課税世帯には、学用品等購入費として給付金が支給されます。

区分		給付金額	
市町村民税所得割非課税世帯	生活保護受給世帯	全日制	52,600円
		通信制	52,600円
第1子の高校生等がいる世帯	2人目以降の高校生及び高校生以外に15歳以上(中学生を除く)23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる高校生	全日制	67,200円
		通信制	38,100円
		全日制	138,000円
		通信制	38,100円

3. 学び直しに対する支援

高校等を中途退学した方が、再入学した場合には、国の支援金の支給期間の終了後、最長2年間、授業料に対して支援金が支給されます。

私立小学生・中学生に対する支援

現在、国で、平成29年度から、私立小学校・中学校に通う児童・生徒の授業料に対する支援制度の創設に向けた動きがあります。



SHIGAKU YAMANASHI



私学 やまなし

第3号
平成28年9月

理事長挨拶

公益社団法人山梨県私学教育振興会
理事長 川手佳彦



山梨県私学教育振興会は、公益社団法人として発足し、2年が経過いたしました。

この間、振興会にあっては、5部会を持つ機構として改編するとともに、役員構成を刷新し、さらに財務会計の明確化のための会計制度の変更など、社会的な責任を担う体制を整えてまいりました。

現在、当振興会には、幼稚園60園、小学校2校、中学校4校、さらに高等学校11校が加盟し、約17,000名の園児、児童、生徒が学んでおります。

私たち私立学校は、公立の幼稚園や小中高等学校と切磋琢磨し、山梨の教育の両輪となって、教育水準の向上に努めております。

今や、世界は情報網の発達により、世界各地の情報が瞬時に伝播し、急激な変革をもたらし、教育の世界においても大きな変革期であります。

本県の教育も、この世界のすう勢に対し、様々な価値観と豊かな発想を持ち、世界に羽ばたく人材の育成が求められております。

このために、私立学校の特色であるそれぞれの学校の建学の精神に基づき、園児、児童、生徒とともに学び、人間性や学力の向上に努める教育を実践しているところであります。

少子化の中にあつて、私立学校を取り巻く環境は、今後ますます厳しいものがありますが、県民の皆さまに私学の取り組みをご理解いただき、なお一層のご支援をお願いいたします。

平成28年度事業概要

学校教育環境の充実や向上のための事業、優秀な教員の確保事業、教員の資質向上や人材育成を図る研修会の開催事業等を本年度も実施しています。

教育研修事業

一般の方が御参加いただける研修もございます。詳しくはホームページを御確認ください。

幼稚園部

- 教職員研修大会 / 8月12日
- 免許状更新講習 / 年3回
- 地区研究会での公開保育 / 年8回

小中高部

- 新任教員研修会 4月27日
- 中堅教員研修会 7月29日
- 私学教育研修会 8月23日



退職資金給付事業

私立学校教職員の確保と待遇改善を目的として、教職員退職資金給付事業を行っています。

平成27年度は、幼・小・中・高の教職員87名の方々から退職し、389,304千円を給付いたしました。

資金貸付事業

私立学校における教育環境の整備や経営の安定化を図るため、低利で貸付を行っております。

平成28年度の貸付利率は、0.3%、貸付期間は、15年以内で限度額は、4,000万円以内です。

施設設備・経営資金・耐震診断・耐震工事経費等に御利用いただけますので、積極的に御活用ください。



その他の事業

県民に私立学校の素晴らしさ・魅力、私立学校に通われる園児・児童・生徒への支援制度などをお知らせするとともに、私学教育への関心を高めるための活動や、私立学校運営の改善・強化を行うための事業を行っています。

保護者の声



山梨県私立幼稚園 PTA 連合会
会長 伊藤 毅
(あおばこども園 PTA 会長)

皆様こんにちは、平成28年度山梨県私立幼稚園 P T A 連合会会長を務めさせていただきます伊藤 毅と申します。

皆様と共に、今年度私学教育の振興・子ども達の健全育成のために精進させていただきます。

さて、私自身3人の子供の父親です。現在3番目の娘が甲斐市山縣神社近くのあおばこども園の年長です。子供にとっての教育はまず家庭教育から始まり、そして初めての学校が、幼稚園です。人間の成長する過程で一番重要な時期と言われるのが幼児期、保護者にとっても親子共々成長する場として、各園とも特色ある私立の幼稚園に関わらせていただき、共に充実した時間を過ごせることに感謝しています。幼児期は一度きりです。信念を持って教育にあたって下さっている先生方と協力しながら、保護者としてこの時期を共に大切にしたいと考えています。



山梨県私立中学高等学校 PTA 連合会
会長 堀内 英司
(東海大学付属甲府高等学校 PTA 会長)

私立中高に在学されている生徒の保護者の皆様、こんにちは。

現在、我が子は高校3年生になりますが、私自身が私学出身ということで、恩師が今も教鞭をとられ、その教えが脈々と続いているという特別な信頼感があり、高校の進路選択の際は、迷わず母校への進学を勧めました。

私学の魅力は、各校が独自の校風や教育方針を持ち、しっかりと生徒の特性を見極め、きめ細やかな教育を行っているところだと思います。さらに、部活動にも熱心に取り組み、健全な心と体を養い、すべての生徒の才能を見つけ伸ばしていく教育が魅力であります。

今後も、建学の精神のもと、熱心に御指導して下さる先生方と保護者が共にスクラムを組み、子ども達が夢や目標を実現するため、全力でバックアップしていこうと考えています。

部会事業に参加して



関東地区教員研修 茨城大会に参加して

双葉幼稚園
前嶋 ゆみ香

2015年の関東大会に山梨県代表の一園として「保育の育ちを支える環境構成」というテーマに基づいた事例・意見発表をさせていただきました。この機会を与えて頂いたことで、自分の保育と向き合い、今まで以上に子ども達の様子を細かく見ていくようになりました。そうした中で、子ども達が発する何気ない一言には、保育が面白く発展するきっかけや、その子の自信に繋がるもの、集団として伸びていくきっかけが沢山含まれていることに改めて気づかされました。全てを拾い、取り上げていくことは難しいですが、出来る限りそれを受け止め、認め、褒めていくことを大切に今後子ども達と過ごしていきたいと思っております。最後に研究を進めるにあたり熱心にご指導下さった先生方に心から感謝申し上げます。



中堅教員研修会に 参加して

駿台甲府小学校
山下 潤

今回、初めて中堅研修会に参加させていただき、自分の職務や立場について改めて考える良い機会になりました。午前中、学校危機管理やクレームへの対処の基礎と中堅教員の果たす役割について講義を受けました。詳細は割愛しますが、刺激的な内容も多く、ぜひ多くの教員に聞いて欲しいと思うものばかりでした。午後のグループディスカッションでは、選ばれる私学になるためにというテーマで議論しました。私学特有の諸問題、私学の存在意義や生徒募集など多岐に渡る議論が展開され、最後はお互いの悩みを相談するなど交流を深めることも出来ました。私学全体が教育を牽引できるよう、改めて自分なりに考え、職務を遂行したいと思っております。

